



日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

緊急事態宣言が解除され数ヵ月が経ちました。若年層へのワクチン接種が進められる一方で、オミクロン株の発見など、まだまだ落ち着かない日々が続いております。残念ながら沖縄ワークキャンプは次年度へと延期になりましたが、学校行事も徐々に形態を模索しながら実施している次第です。そのような中、今学期もクラスターを発生させることなく、学校生活を送ることができました。これもひとえに保護者の皆様のご家庭での温かいご支援があったからこそと感謝申し上げます。引き続き 3 学期もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、各教科担当より 2 学期の学習状況等についてご報告いただいたものを、一覧でまとめさせていただきました。お子様とご一緒にご確認くださいませと幸いです。

教科・科目		担当	2 学期の学習内容・状況	2 学期の評価について	冬休みの課題等
国語		宇佐見 田口 福永	2 学期は、情報リテラシーに関する説明文、坊っちゃん、奥の細道、万葉集、古今和歌集、新古今和歌集、百人一首、文法(助詞、助動詞など)を扱いました。	情報リテラシー課題観点 A 分析、 坊っちゃん課題観点 A 分析観点 B 構成、 定期試験観点 A 分析観点 B 構成観点 C 創作観点 D 言語の使用、 百人一首小テスト観点 D 言語の使用、 奥の細道暗誦観点 D 言語の使用	特にありません
社会	歴史	水津	社会科（歴史）の授業はおおむね、皆さんよく聞いてくれています。 問いについて議論する際も積極的に周りの生徒と話し合っている様子をどのクラスでも見て取れます。 しかし、全体で発表してもらおうとなると少し積極性に欠ける部分が見られます。	歴史に関しては、2 学期期末テストで観点 A・D をとっています。 成績は公民と合わせて社会科として出ます。	「020_戦後 19 年の道のり」と題した課題を出しています。説明などは長くなるので省略させていただきますが、生徒には授業などを通して知らせています。 この課題は 3 学期の評価対象として、観点 B・C・D と多くの観点をこの課題でとるので生徒には頑張ってもらっています。
	公民	前田	政治分野では、三権分立に基づく国会（立法機関）・内閣（行政機関）・裁判所（司法権）の仕組みと投票行為の意義について学習をしました。経済分野では、三つの経済主体（家計・企業・政府）のそれぞれの仕組みと役割について学習を進めており、3 学期に続きをしていきます。10 月 31 日に衆議院議員選挙と最高裁判所裁判官の国民審査が実施されたため、学習内容に関係する社会の動きを身近に感じ関心を持ってくれた人が多くいました。 1 学期から引き続き新聞スクラップの提出が 3 回ありました。新聞記事の要約や考察を上手く記述できるようになってきた人が増えています。継続することが学習には大切なので引き続き頑張らしましょう。少数ですが課題をまったく提出しない人がいます。提出しないということは、提出している人に比べて学習量が少ないという事を意味します。そのことをしっかり自覚して課題には取り組みましょう。	観点 A：中間テスト・期末テスト・新聞スクラップ 観点 B：夏休み課題（未提出の人は評価 0） 観点 C：新聞スクラップ 観点 D：中間テスト・期末テスト・夏休み課題・新聞スクラップ 評価は歴史分野とあわせて社会科として出ます。	・SDGs に関するパンフレット 2 種類を終業式に配布します。3 学期の物理との IDU の学習に使いますので、廃棄せずに保管してください。 ・新聞スクラップ（1/6 提出） ・新聞スクラップ振り返りシート（1/6 提出）
数学		新井	測量の考え方（三角比とその拡張）、変化の見方と表し方（x の n 乗に比例・反比例する関数ほか）を学びました。GeoGebra や Desmos といったグラフ作成ツールを使用し、そこで見出した事柄などを Padlet というアプリケーションで共有したりする授業を実施しました。ここで学んだことは後期課程の数学や課題研究でも役立つと思いますので、ぜひ極めてもらいたいところです。 数学は、学ぶ対象が次は学ぶためのツールになる特徴があり、その意味でつながりが強い教科になります。前期課程 3 年間で学んだ内容に関する技能面だけでも、この約 3 か月間で復習しておくとういことだと思います。学問に王道なし！計画的かつ地道に取り組んでいきましょう。	A・B・D：第 2 章単元テスト、第 3 章第 1 節テスト C：第 2 章振り返りシート、第 3 章第 1 節単元テスト	1/14 提出締切の関数グラフでアート作品を仕上げる課題を課しています。
理科	物理	川上 長井	運動や電磁気について、学習しました。運動では、日常の出来事を科学の視点で捉え直した事例をもとに考えましたね。総括的評価課題であった、テレビ番組「」は、私も楽しく、学ぶことができました。科学をするだけでなく、科学を伝えることも楽しめていけるといいですね。 電磁気では、見えないものをさまざまな方法で可視化、解釈しながら、考えました。最初はバラバラだったものの中に相互作用を見出し、関係性を構築していきました。昨年度に引き続き、関係性について、さらに考えが深まっていると良いと思います。電気あるいは電磁気は、私たちの生活に欠かせないものとなっています。さまざまな電化製品を使いながら、スイッチを入れながら、ID タッチをしながら、科学に思いを馳せてみましょう。少しずつ難しくなっている物理ですが、積極的に学ぼうとしている姿はとても頼もしく思います。これからも一緒に、自然を見ることを楽しんでいきましょう。	規準 A：定期試験 規準 BC：コイルで物体を動かす実験レポート 規準 D：テレビ番組「」	・ Forms による振り返り ・ 社会科と共通の課題（IDU）
	化学	伊藤	生徒のみなさんは実験の回数を重ねるごとに実験用の器具の扱いに慣れてきたようです。また、1 学期に比べて元素記号、化学式、化学反応式を使うことにも慣れてきた生徒達が多く見られます。 学期末の授業ではどのクラスでも生徒達が積極的に質問したり、身近なものに例えて確認したり、生徒間で説明しあうなど、学習に対する前向きな姿勢が特に多く見られました。3 学期もこうした学習の雰囲気継続できると良いですね。	①重曹とレモン水」の実験課題（規準 A,C ② 期末試験（規準 A） <3 学期に向けて> 規準 A：化学反応式の基本ルールを身に着けること、次に、実験や現象について化学反応式を使って説明したり、読み解くことができるようにしましょう。3 学期は電離式も多く登場します。電離式と化学反応式の違いを確認しましょう。 規準 C：現象やデータ、気づいたことを記録すること、さらにそれらを具体的な仮説と検証方法として説明したり、データを表やグラフに分かりやすく簡潔に（実験によって何を明らかにしたかがわかるように）示すことができると良いでしょう。	授業でもお伝えした通り、規準 D の課題を出します。詳細は Teams を確認してください。 ※2 学期の課題と同じように Teams を使って提出してもらいます。提出時は必ず「提出ボタン」を押して提出してください。また、提出後にご自身の課題データ（電子もしくは紙）は保存・保管しておいてください。

保健体育		佐藤橋本	体育分野：①水泳（遠泳・救助）：泳力だけではなく、知識と実践を併せ持った授業でした。②バスケットボール③アルティメット：それぞれのルールや特性から見えてくるチームプレイの重要性についての学びを深めた生徒が多く見受けられました。保健分野：飲酒・喫煙・薬物について、保健・医療機関の役割についての授業を通し、日常の健康問題に対して意識を高めることができたのではないのでしょうか。	保健分野、体育分野における ISS 保健体育 A～D の規準。文科省の 3 つの観点。	心身ともに健康に留意し、 2 学期の学びを日常生活と結びつける意識をもって生活する。
音楽		飯田	・教育実習生による授業 ・身近なモノで STOMP パフォーマンス（前半）→教科書教材の『打楽器のための小品』に取り組みました。楽曲の演奏に加えて、演奏する音素材や音の重なりを工夫しました。 ※後半は 3 学期に実施する予定です。	観点 A→ワークシート（鑑賞内容を踏まえた記述） 観点 B→演奏発表 観点 C→ワークシート（演奏の工夫のまとめ） 観点 D→ワークシート（他者の発表を聴いてのまとめ）	特にありません。
美術		鈴田	美術作品を自分なりに解釈し、パロディやオマージュを用いながら紹介するカード作品を制作しました。 アートプロセスジャーナルには関連作品の調査、ポップアップやペーパークラフトの技法の試し、制作の振り返りなどについてまとめました。	最後に提出するアートプロセスジャーナルだけでなく、学習の途中で取り組む、アイデアスケッチやワークシートの提出も評価の対象です。	
外国語	英 C	徳	【学習内容】 True Stories リーディング、ボキャブラリー、インタビュー活動 Hamlet, Dr Jekyll and Mr Hyde リーディング 【全般的な様子】 授業に対する取り組みがクラスにより差が出てきました。全体としては概ね良好ですが、個人差がクラス差にも繋がっているように思われます。特に朝 1, 2 時間目の授業で遅刻や欠席が多いクラスは進みも遅くなってきます。	観点 B：リーディングテスト 観点 C：インタビューアーテスト 観点 D：ボキャブラリーテスト 観点 E：1 学期リフレクションシート、インタビューアーテストデータ&リフレクション ＊その他反映されていないものは 3 学期の成績に反映します。	A Christmas Carol を読んでテストに備える。Reading log は必須ではありませんが、作成することをお勧めします。
		横田	今学期の授業では、生徒の皆さんにとって身近な話題について多面的に考え、議論し、自分の考えを簡潔な作文にまとめる練習をしました。生徒の皆さんは積極的にディスカッションに参加してくださり、また毎回の作文の宿題でも、授業で扱った英作文の技術を活用して取り組まれていました。	・短いエッセイライティングの宿題（全 9 回）（観点 E） ほぼ毎回の授業で、その日に扱った議題について、自身の意見を短いエッセイにまとめる宿題を課しました。提出の有無に加え、授業内で扱った作文の技術を使えているかどうかを評価に加味しました。 ・期末テスト（観点 D） 身近な話題に関して、自分の意見を述べる英作文の問題を出題しました。言葉を語法に沿ってうまく使えているか、フォーマルな書き言葉として規範文法に則っているかどうか、パラグラフライティングとして読みやすい文章構成になっているか、論理に飛躍がないかなどを評価の観点としました。	ありません。
		大山	・全般的には意欲的に取り組んでいました。特に、クラスメートについての身近なことに関するアクティビティ（e.g. 持ち物について関係代名詞を使って説明）や、最近の社会事情に関するトピックを扱った問題は、興味を持ち活発に取り組んでいました。 ・リスニングの練習を今学期は少し多めに行いましたが、教科書のリスニングの速度が速すぎて聞き取れないという生徒が多くいました。その際は、リスニングの速度を落とす、聞く回数を多くする、字幕を付けながら聞く、字幕のみをあとで一緒に確認する、シャドーイングする、などで対応し、その後はスムーズに聞き理解ができていたと感じます。 ・単語・文法に関する小テストや Key ワーク（教科書付属参考書）の得点率・提出状況については、良い傾向を保てる生徒とそうでない生徒と分かれました。ガイダンス・オリエンテーションなどで年度初めに配布されたプリントに記載のある基本事項を、再度全体へリマインドすることが必要ではないかと感じます。	・Criterion A Listening Video Test (Unit 3 - 絶滅危惧種とその保護活動について) ・Criterion B Reading Test (Unit 3 の climate change の部分 (p.37,40)、Unit 4 の災害、Unit 5 のノーベル平和賞(p.79)に関する部分に関連。トピックは、「気候変動による災害、またそれに対する World Food Programme による平和的支援」です。Unit2 の俳句の内容は出さず、主に単語・文法のみ関連させています。また、横田先生と合わせて 50 分のテストのため、分量は 300 語程度、25 分程度で解けるものにしました) ・Criterion D 観点 1 & 2 Vocabulary & Grammar Test（各 Unit の単語・文法のテスト（10 分）を各 Unit 終了後に行っています） ・Criterion E Key ワーク（各 Unit の中間時期頃に回収・評価を行っています）	・中 3 New Horizon 教科書付属 Key ワーク pp.110-129 (11 月上旬に各クラス授業内にて紙で配布 ・周知済み、11/12 にも Teams 全体向けチャットで伝達済みです)
	英 A	スミス パターン	We read and analyzed the book and the movie (2008) Prince Caspian from the Chronicles of Narnia, focusing on characterization and symbolism, and wrote creative stories based on it. Then we studied Erik Erickson's 8 Stages of Psychosocial Development, focusing on Adolescence, discussing and writing essays. I was very pleased with the students' honesty and insight as they considered their lives and relationships.	- Prince Caspian reading quiz: A - Painless Vocabulary quiz: B - Narnia creative writing task: D	None
技術		渡津	2 学期は計測・制御の技術を学習し、micro:bit とブロックを組み合わせて、社会問題を解決する製品をグループで開発しました。micro:bit には複数のセンサが内蔵されており、さらに外付けで赤外線センサ等が付けられます。それらにより周辺の状況を計測し、モータや光、音等を制御しました。	2 学期の前半で、生物育成に関するレポートを 2 種類提出してもらいました。後半は、計測・制御の技術を学習したので、それに関する問題をテストで出題しました。観点は「課題解決」「評価」です。	開発した社会問題を解決する製品の PR 動画と、事業報告書の提出が、年明けすぐにあるので、それを進めてもらう予定です。
家庭		菊地	衣生活分野を主に学習しました。	毎時間の振り返りシート	
国際教養/道徳		学年担任	2 学期前半は、スクールフェスティバルと沖縄ワークキャンプの準備に時間をかけました。残念ながら沖縄ワークキャンプは来年度へ延期となりましたが、ここで準備したことが生きてくると思います。 2 学期後半は、4 年次夏に提出締切の PP（Personal Project）の準備に時間をかけました。13 回生の代から PP も大きく変更されますので、3 年生のうちからしっかりと準備をしておきたいものです。 道徳については、キャリア関係の講演や編入生による各国紹介、生徒企画による落ち葉拾いやさまざまな視点から自分自身の価値観を見つめる機会を設定しました。		Personal Card を 1/6（木）に提出をしてください。資格等は取得日の確認をお願いします。 また、課題ではありませんが、「科目履修届」も 1/6（木）提出締切【厳守】となっています。